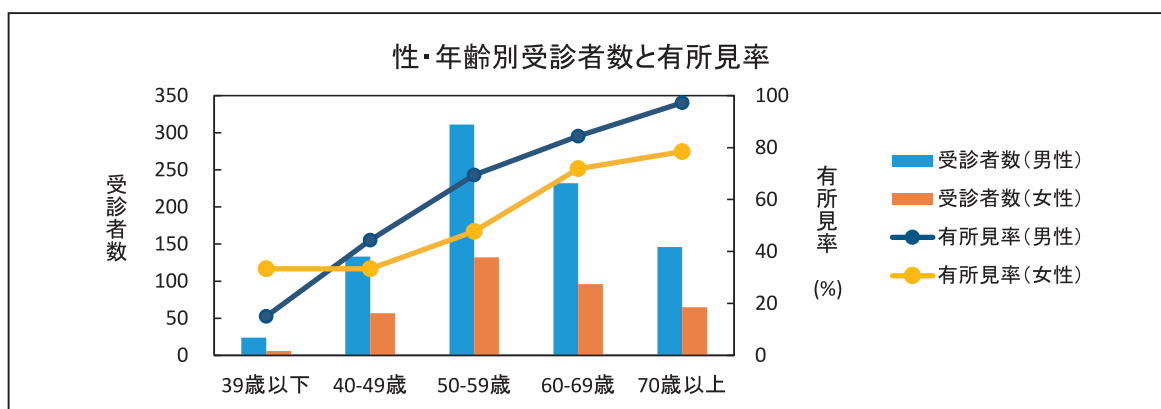


頸動脈超音波検査

性別	年齢	受診者数	正常者数 A・B判定(%)	経過観察者数 C0～C12判定(%)	要精検者数 D判定(%)	治療中 F判定(%)
男性	39歳以下	20	17 (85.0)	3 (15.0)	0	0
	40-49歳	133	74 (55.6)	51 (38.3)	5 (3.8)	3 (2.3)
	50-59歳	311	95 (30.5)	152 (48.9)	47 (15.1)	17 (5.5)
	60-69歳	199	31 (15.6)	94 (47.2)	44 (22.1)	30 (15.1)
	70歳以上	146	4 (2.7)	62 (42.5)	35 (24.0)	45 (30.8)
女性	39歳以下	6	4 (66.7)	2 (33.3)	0	0
	40-49歳	57	38 (66.7)	19 (33.3)	0	0
	50-59歳	132	69 (52.3)	51 (38.6)	9 (6.8)	3 (2.3)
	60-69歳	96	27 (28.1)	55 (57.3)	7 (7.3)	7 (7.3)
	70歳以上	65	14 (21.5)	31 (47.7)	8 (12.3)	12 (18.5)
計		1,165	373 (32.0)	520 (44.6)	155 (13.3)	117 (10.1)

頸動脈超音波検査の受診者は1,165人、このうち要精検者数155人(13.3%)、治療中の受診者は117人(10.1%)でした。



受診者数は1,165人、このうち有所見者は792人(68.0%)。男女共に加齢とともに動脈硬化が進む傾向が顕著に見られ、70歳以上では有所見者数193人(91.5%)でした。

